



きびしい社会を生き抜く人になる！こども君主論

齋藤 孝

これからの人生で本当に役に立つ『君主論』をこども向けに分かりやすく書かれた本です。

「覚悟」をもって決断し、まわりの「仲間」から信頼され、困難に負けず「努力」し、「運命」さえも乗り越えられる力を学べます！（あぶた読書の家所蔵）

読書の家から

- あぶた読書の家** (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
- みずうみ読書の家** (☎ 75-4702)
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日
- 洞爺総合センター図書室** (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽自分の力で人生をきりひらく！こども自助論（齋藤孝）▽逆境に負けない力をつける！こども菜根譚（齋藤孝）▽自分に負けないころをみがく！こども武士道（齋藤孝）▽君がいないと小説は書けない（白石一文）▽写真アルバム胆振・日高の昭和（いき出版）

△児童書▽いもとようこの日本むかしばなしAセット（全12巻）（いもとようこ）▽いもとようこの日本むかしばなしBセット（全12巻）（いもとようこ）

■みずうみ読書の家

△一般▽命の砦（五十嵐貴久）▽同姓同名（下村敦史）▽隣はシリアルキラー（中山七里）▽スター（朝井リョウ）▽デルタの羊（塩田武士）▽漂砂の塔（大沢在昌）▽揺籠のアディポクル（市川憂人）▽数学者の夏（藤本ひとみ）▽始まりの木（夏川草介）▽わたしが消える（佐野広美）

絵本の玉手箱 1月のおはなし会

■日時 ①1月11日（月）、1月25日（月）、2月8日（月）10時～11時30分
■場所 あぶた母と子の館
■問合せ 佐藤（☎ 76-2487）
※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

△児童書▽劇場版鬼滅の刃

無限列車編（吾峠呼世晴）▽人体の知識が身につく はたらく細胞 学べるクイズ（講談社）▽猫町ふしぎ事件簿 猫神さまはお怒りです（廣嶋玲子著／森野きこり絵）▽雨の日の地下トンネル（鎌田歩）▽とりあえずまちなましよう（五味太郎）

■洞爺総合センター図書室

△一般▽傲慢と善良（辻村深月）▽見えない誰かと（瀬尾まいこ）▽一汁一菜でよいという提案（土井善晴）
△児童書▽ぱんつさん（たなかひかる）▽きょうふのしりとり（武田美穂）

地域おこし協力隊



通信

vol.34

今月の
リポーター
西山雄治さん



1年のうちで昼が最も短い日である冬至が過ぎてから3週間になります。寒さはまだ続きますが、確実に1日1日、日が長くなっていきます。そのことから、冬至は「太陽がよみがえる日」と考えられ、大昔の日本では、豊作を祝う祭りが行われていたそうです。また、冬至にはカボチャを食べる習慣があります。カボチャは長期保存ができることから、緑黄色野菜の少ない冬にカロチンやビタミンが多く含まれるカボチャを食べることで、風邪などへの抵抗力をつけ、冬の寒さに耐える身体を作るという先人の知恵だったようです。

さて、毎年2月に開催されている「洞爺湖温泉冬まつり」ですが、残念ながら今年からは中止となりましたが、一方では、今回が初開催となる「洞爺湖温泉冬花火大会」が12月1日～2月14日までの期間で行われます。場所は洞爺湖汽船本社前棧橋で、20時30分から5分間程度（荒天中止）打ち上げ花火が実施されます。詳細は洞爺湖温泉観光協会のホームページを確認してください。

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、人が集まるイベントなどの開催が困難な状況となっており、お部屋から花火を鑑賞できる洞爺湖温泉に宿泊のお客さんにとって、くつろいで頂ける楽しい時間になればと思います。

みなさんも「冬花火大会」を見に行ってみては、いかがでしょうか。